

## 第11回 村上市議会議会改革調査特別委員会記録

- 1 日 時 令和5年6月27日(火) 午後2時19分
- 2 場 所 村上市役所 第1委員会室
- 3 付議事件  
(1) 議席の指定
- 4 報告  
(1) 調査結果等の報告
- 5 協議  
(1) 議会運営のデジタル化について  
(2) その他
- 6 その他
- 7 出席委員(6名)

1番 鈴木一之君	2番 高田晃君
3番 河村幸雄君	6番 本間善和君
7番 尾形修平君	8番 長谷川孝君
- 8 欠席委員(2名)

4番 鈴木いせ子君	5番 木村貞雄君
-----------	----------
- 9 地方自治法第105条による出席者  
議長 三田敏秋君
- 10 委員外議員  
副議長 大滝国吉君
- 11 議会事務局職員

局長 内山治夫	
次長 鈴木涉	
書記 中山航	

---

(午後 2時19分)

委員長(長谷川 孝君) 開会を宣する。

長谷川委員長 さて、皆様既にご存知のとおり、川崎健二議員が議長において6月16日付で議員辞職を許可された。また、菅井晋一議員からは6月20日付で議会改革調査特別委員会委員辞任の届出があり、委員会条例第14条の規定により、同日付で議長において許可された。これにより欠員2名が生じたところであるが、6月22日付で、河村幸雄議員及び木村貞雄議員が新たに議会改革調査特別委員会委員として、議長において指名された。については、本日の委員会は初めに委員の議席の指定を行った後、前回の調査内容について確認し、議会運営のデジタル化についてご協議いただくこととしているので、よろしく願いいたす。議席については、会派から2人出ているところが多くなってきているので、隣同士にしたほうがいいという考えもあるので、委員長として、もう一度議席指定を行いたいと思うが、よろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

---

### 3- (1) 議席の指定

長谷川委員長 事務局から議席と氏名を朗読してください。

事務局次長 それでは、議席について朗読をさせていただきます。

- 1 番 鈴 木 一 之 君
- 2 番 高 田 晃 君
- 3 番 河 村 幸 雄 君
- 4 番 鈴 木 いせ子 君
- 5 番 木 村 貞 雄 君
- 6 番 本 間 善 和 君
- 7 番 尾 形 修 平 君
- 8 番 長谷川 孝 君

---

#### 4－（１）調査結果等の報告

長谷川委員長 それでは、次第の3、報告だ。（1）調査結果等の報告について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局次長 それでは、前回の会議の報告といたして第10回議会改革調査特別委員会の概要についてご報告させていただきます。令和4年12月9日の会議である。（1）といたして、政治倫理条例についてということでご協議いただいた。パブリックコメントの状況について報告を申し上げ、提出のあった意見に対して回答を確認いただいたところである。結果といたして、条例案に修正の必要がなかったことから、条例案を確定し議員発議により定例会へ上程すると決定いただいて、今年の第4回定例会へ上程をいただき可決いただいたところである。続いて（2）番、議員の人材確保についてである。議員のなり手不足対策として福利厚生の充実について、前回の決定を踏まえ、地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書を議員発議により、昨年第4回定例会へ提出いただいたところである。これについても原案どおり可決いただいて既に提出しているところである。（3）番、その他であるが、本特別委員会の協議事項について、一定の整理ができた段階となったことから、本会議において委員長による中間報告を行うこととしたということで、第4回定例会最終日において、委員長より中間報告をいただいたところである。以上、前回の概要であった。

---

#### 5－（１）議会運営のデジタル化について

長谷川委員長 次に次第の4、協議に移る。協議の（1）議会運営のデジタル化についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

事務局次長 私のほうから説明をさせていただきます。タブレット端末による会議のペーパーレス化ということについては、燕市議会へ視察に行ってみたり、導入についてこれまで探ってきたところであるが、今年の11月22日開催の議会改革調査特別委員会において、皆さんのほうでご決定をいただいたとおり、事務レベルで調整をした結果、この村上市役所の庁舎の構造が原因となるWi-Fi環境の整備、あと電源の整備などの調査、こちらのほうを令和5年度に行って、タブレット端末によるペーパーレス化の導入の目標については、令和6年度末ということでご決定をいただいたところである。そういったところではあったのだけでも、村上市に限らず全国となるけども、DXが進められる中で、県内の導入状況を見ても、県内20市議会の中で12市議会がタブレット端末を既に導入済みであるということであるし、また今年度2つの市議会、あと来年度1つの市議会でも導入するという、今そういった現状にあるということが分かった。

そういった状況であるので事務レベルで、もっと早く導入することはできないのかということで手法について探ってきたところである。導入するに当たっては、この庁舎の構造が原因ということになるのだけでも、電波が非常に通らないというこの庁舎の悪い特性上、Wi-Fi環境の整備工事が必要であるということがまず大きな課題として挙げられる。事務レベルでもその課題解消をという部分を中心にして検討してきたのだが、その検討してきた結果、今お手元の資料3ページの中段のほうに記入させていただいたのだけでも、(2)のタブレット端末の通信方法のセルラー方式という部分だ。このセルラー方式、スマートフォンを皆さんお持ちだけでも、それと同様の形でWi-Fiの電波を拾ったり、あとSIMカードを使って携帯電話の電波を拾って通信するという、それを併用した形なのだけでも、これであればWi-Fiの環境整備工事、こちらが必要ない、必要がなくてさらに安定した電波で会議が運営できて、かつキャリアの、例えばNTTだとかソフトバンクだとかそういったところで使っている電波を使う関係上セキュリティも保てるという形で、現時点で考えられる最も早い導入方法でないかということで話をしてきたところである。村上市のDXなのだけでも、本来、議会ばかりということではなくて、理事者側も一体となってDXを推進すべきところではあるのだが、今ほどお話をさせてもらった形については議会だけが先行して導入する形になってしまう。理事者のほうの対応については、議会側で仮に導入した場合に、その導入するシステムや導入の環境、そういった部分を踏まえて、理事者のほうで適切な内容で導入していきたいというような担当者レベルの話で今あるので、同時進行で理事者のほうも適切な方法について探っていくというようなことである。今ほどちょっと説明させていただいた形で導入するとした場合に、A3版の用紙を配らせていただいているが、導入スケジュールを見直しをさせていただいた。セルラー方式を導入するとした場合には、当初令和6年度末の導入と考えていたのだけでも、来年4月に改選、一般選挙があるが、その後の6月の定例会から試行運用という形で運用開始ができるのではないかとというふうに考えている。逆にその導入が来年の6月定例会からの導入が可能となると、そういったスケジュール逆算して見た場合に、今年度中から作業着手するということとなるし、あと今年度やるにしても予算、当初予算は盛り込めなかったので、9月に補正予算が必要になってくるというふうに考えている。あと導入するとした場合に、タブレット端末でペーパーレス化を図ることなのだけでも、タブレット端末の内容については3ページのほうに記載をさせていただいた。7番、導入環境の(1)タブレット端末の機種というところだけでも、iPad Pro 12.9インチというものを採用するのがベストじゃないかというふうに考えている。ほかの市議会の状況を見ても、やはりこれを導入しているという状況であるし、何よりも画面のサイズが、今皆さん紙ベースで資料を見ていただくときにはA4版であるけども、A4版の画面サイズで資料が見れるという形なので、導入するのであれば、iPad Pro 12.9インチを採用することがいいのではないかと考えている。あとそのタブレットを使っての会議システムのほうなのだけでも、実は先週20日の日なのだけでも、ペーパーレス会議システム、今いくつか国内であるのだが、そのうち新潟県内で導入されているシステム業者二つのところから来ていただいて、システムのほうのデモを実施いただいた。議会改革調査特別委員会の委員の皆さんの中から、長谷川委員長と尾形副委員長と、あと高田委員に出席をしていただいて、あと関係課のほうからも職員に出席してもらって、システムのデモということで内容を見ていただいたところだ。出席後だけでも、長谷川委員長と尾形副委員長と高田委

員のほうからもご意見をお聞きしたのだが、同じく資料の4ページのほう見ていただきたいのだけでも、この4ページ、真ん中に表を記載させていただいたが、サイドブックスというものとモアノートというのと、スマートディスカッションというのが使われているシステムであるのだけでも、全国だとか県内での導入実績と、導入している他の市議会との情報共有が図られるということと、あと議会運営の先進地と言われている茨城県の取手市議会が、研究協定を結んで議会に特化した会議システムの改良を進めているという将来性などを考えて、こちらに記載のあるサイドブックスというシステムを採用するのがいいのかなというふうに考えている。この会議システムを使うと皆さんが今紙で見ている議案書だとか、会議の資料だとかというものが画面上で見れるということでペーパーレス化を図るという核となるシステムになるのがこの会議システムとなる。あとこの会議システムのほかに、その会議の開催案内だとか、あとちょっとした、今だとファクスで案内送ったりとかさせてもらっているけども、そういったものに代わるものとして、連絡ツールの導入についてもせっかくなので併せて考えている。皆さんLINEでいろいろな連絡のやりとりをしていただいているけども、そのちょっと機能が拡張したラインワークスというものだとか、あと市のほうでロゴチャットなんていうのも使ったり、そのほかにもいろいろ出ているので、そういったもの、使いやすいものはどれがいいのかなというようなことでまた事務局でも研究も始めているところである。タブレットから始まって会議のシステムとかいろいろと話をしてしまったけども、気になる費用の部分なのだけでも、まず通信費については、村上市のほうで格安の限定プランというものをドコモのもの入っているのがあって、もし議会のほうでそのペーパーレス化のためのシステムを入れるのであれば、それを使うことは可能だよということで関係課で集まっている会議の中ではそういった話も出ている。概算経費については資料の5ページのほうを見ていただきたいと思うし、あと予算措置の部分のほうについても、また別紙で用意をさせていただいた。議会ペーパーレス化導入費用とついている表形式のもの、そちらのほうの下段のほうに予算措置つけさせてもらっている。超概算でのものを載せているが一応そのような費用が発生すると、あるいは補正予算が必要になってくるということである。以上ずっと話し放しであったが、一応この皆さんに配らせていただいた資料のところにも、そもそもペーパーレス化というものがどういったものなのかというもの、目的から、あとペーパーレス化を図ったときにこういう内容だよというものも、改めてちょっと整理してみたので後ほどまたご確認をしていただきたいと思う。また、この場でペーパーレス化の導入スケジュール、あとタブレット端末はどういったものを入れるとか、会議システムはどれを採用したらいいとか、そういった部分についてこの場でご協議をいただければと思うのでよろしく願います。

長谷川委員長 ただいま次長のほうから説明をいただいた件についての質疑等、それから皆さんからご意見があったらお願いをいたす。ないか。粛々と進めてもらう以外ないんでないかと思う。

尾形 修平 今ほど次長から説明あったように先般、サイドブックスというのとモアノートというのを私と委員長、あと高田さんと3人で体験させてもらった。その中で説明あったように、私は昨年、燕市の市議会も視察してきたところであるが、そこでもこのサイドブックスというソフトを使っていたし、先般も我々疑似体験させていただいたけども、やっぱりサイドブックスが導入するとすればいいのかなということで事務局のほうとも話しているし、いかんせん多分皆さんまだ未知の領域だと思うので、なかなかこう

やって話してて、じゃあどの機種がいいよねという話には多分ならないと思うので、知見のある事務局サイドのほうに、導入の選択も含めたのをお任せするという方向で、私はいいのかなというふうに思うので、その辺皆さんから意見を求めていただければと思う。

長谷川委員長 皆さんからあるか。

高田 晃 副委員長の話と私も同感だ。私個人的にはサイドブックス、東京都で1回、燕市で1回、あと取手市の関係も、尾形さんと一緒に行った長野県でもいろいろ情報もらったけども、やっぱり今事務局から説明あった実績が全然違うと。実績もしかり他市議会との情報量が全く違うので、これで進めて欲しいというふうに思う。以上だ。

長谷川委員長 ほかにあるか。

三田 議長 今これだけ事務局、また委員長、副委員長、高田委員のほうで、資料も具体的にスケジュール感を示していただいたので、事務局に任せるといことになるとなかなか負担かかるので、従来どおり委員に諮って、委員長、副委員長、高田委員のほうで、事務局その方向で進めるようにしていただければ、具体的に見えてくるのかなと。そして、委員の皆さんに周知したほうがより効率的でないかと思うので、その辺お願いできればと思うので、委員に諮っていただければと思う。

長谷川委員長 ただいま議長から提案があったけども、委員長、副委員長、そして高田委員の3人で、議会事務局と一緒にこれから進めていきたいというふうに思っているので、それでよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 ありがとうございます。

事務局 長 それでは正副委員長と相談させていただきながら、また高田委員のほうにもご相談させていただきながら事務局として進めさせていただきたいと思っている。今回の導入に伴って、また費用も数百万ということにかかるわけだけれども、ペーパーレス化に伴う費用をどのくらい縮減できるのかというようなことも資料を作っていくと思っている。そんな中で、例えば今現在紙で配付している会議録の配付、それから例規集を1冊ずつ準備しているわけだけれども、その辺をぜひこのタブレット化によって解決して、さらに効果を高めていきたいというふうなことで考えているので、その辺もまた今後の会議でお諮りしながら進めてまいりたいと思うのでよろしく願いいたす。

---

## 5 - (2) その他

長谷川委員長 次に、(2) その他について、事務局から何かあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 皆さんから特に何かあるか。

高田 晃 今事務局から、今後いろんなペーパーレス化に伴ってのその効果ということで、いろいろ調査するというお話あったけども。どこの研修行っても、他市町村の方もそんなに目に見えたペーパーレスしたからといって、費用的な削減みたいなのはもうないだろうと。あるのだけれどもそんなに大きな数字ではないと。ただし、これを導入することによっての労力の削減とか、あるいは議員活動の効果が増すとかというふうなものを、事務局も含めてね。その辺のこともちょっとまた調べていただければなというふうに思う。以上だ。

尾形 修平 これ今、委員会のほうで方向性が出たわけだけれども、これ議員全員には、例えば7月

4日の全員協議会あたりで話はできるのだろうか。その時点での。9月には予算取ってという話だもんだからね。

事務 局長 7月4日に全員協議会をさせていただく方向で調整しているが、その中で今回の会議の結果についてはご報告申し上げて、方向性については皆さんにご理解いただきたいと考えている。

---

## 6 その他

長谷川委員長 次に、次第の5、その他について、皆さんから何かないか。

事務局次長 皆さんに資料配らせていただいた。今ほどの会議のペーパーレス化の話で、先週デモを行ったメーカーのほうで議会向けのICT推進ハイブリッドセミナーというものをオンラインで、現地でもあるのだけでもオンラインでも行うということであって、参加の案内が届いた。せっかくの機会だし、こちらの取手市議会のほうでの導入の内容なども当日紹介あるので、事務局のほうとしてはオンラインで参加したいと考えている。日にちについては7月の20日のほうで参加予定というふうに事務局のほうで考えているので、もし皆さんご希望の方がいらっしゃったら、私のほうまで教えていただければと思う。よろしく願います。

長谷川委員長 最後に、次回委員会の開催日時を協議いたす。事務局案があったらお願いします。

事務 局長 現時点で日にちの設定はないけれども、ある程度進展した段階でまた皆様にご報告申し上げ、ご確認をお願いしたいと思っているので、正副委員長と相談の上決定させていただきたいと考えている。

長谷川委員長 そのような形でよろしく願います。

---

委員長（長谷川 孝君）閉会を宣する。

（午後 2時47分）